

令和2年度国立研究開発法人森林研究・整備機構入札監視委員会議事概要

開催日及び場所	令和3年3月1日（月）森林総合研究所特別会議室	
委員	鬼沢浩志（一般財団法人建築保全センター参事）、鈴木一美（元会計検査院第3局環境検査課長）、二井矢句子（弁護士）	
審議対象期間	令和2年1月1日～令和2年12月31日	
対象案件	総件数：34件 （抽出案件：10件）	
	工事	測量・建設コンサルタント
抽出案件（業種：抽出の視点）	発注工事一覧表及び発注業務一覧表の中から、以下の工事及び業務を抽出。	
一般競争入札	19（6）	9（3）
不落随意契約	3（1）	0（0）
随意契約	2（0）	1（0）
（議事） （1）委員長選出 （2）昨年度のとりまとめに対する報告 （3）抽出案件に係る説明、審議 （4）まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・森林整備センターいずみ倉庫（福島市）解体工事（建築一式、工事解体工事：低入札、業種区分） ・森林総合研究所B-1棟高温水ポンプ更新工事（管工事：応札者多数） ・多摩森林科学園災害復旧工事（A工区工事）（土木一式工事、とび・土工・コンクリート工手法面処理工事：再入札、複数者応札） ・森林総合研究所研究本館他空調設備改修工事（管工事：不落随契） ・森林総合研究所A-1棟他防水改修工事（建築一式工事：低入札、落札率最低） ・森林総合研究所A-24棟幹線ケーブル更新工事（電気工事：低落札率、応札者多数） ・森林総合研究所研究本館空調設備改修工事（管工事：低入札、温室改修工事との関係） ・多摩森林科学園災害復旧工事設計業務（建設コンサルタント：低入札調査） ・森林総合研究所研究本館他空調設備改修工事設計業務（建築士事務所：応札者多数、工事・監理業務との関係） ・森林総合研究所A-2棟他耐震診断業務（建築士事務所：応札者最多、低落札率） 	
議事	委員からの主な意見・質問	森林研究・整備機構の回答
(1)委員長選出	委員の互選により鬼沢委員を委員長に選出。	
(2)昨年度のとりまとめに対する報告	【入札参加資格の等級の考え方について、検討すること。】	当機構が発注する建設工事に係る入札参加資格については、農林水産大臣が作成した有資格者名簿において、発注工事の予定価格に対応する等級に格付けされた者であることを基本としている。ただし、競争性の確保等の観点から必要と考えられる場合には、契約責任者の判断により、地域の事業者の状況、工事の技術的難易度等を踏まえて、直近上位・下位を基本に対象等級を拡大して競争に付すことができることとしている。
	【競争参加資格に、設計の請負者は設計者と監理者を別の者とする旨の記載を検討すること。】	設計業務の請負者が監理業務に応札する場合に、設計者と監理者を別の者とするように公告に記載をすることとした。今後同様の記載漏れがないよう、引き続き会議やメール等で担当者に周知徹底していく。

(3) 抽出案件の 審議	<p>1. 【森林整備センターいずみ倉庫（福島市）解体工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解体工事で等級を広げたことにより建築工事のC等級の業者が参加できたことは、良かったと考える。 ・「2級建築施工管理技士」の資格を求めたのは厳しすぎたのではないか ・変更契約の変更理由について教えてほしい。 ・低入札だが、工事は無事終わったのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・品質確保上必要だと判断し管理技士を要件とした。 ・変更契約は3回しており、1回目は、コロナ禍による進捗の遅れに伴う工期延長。2回目は、国庫返納のための財務局との協議を踏まえた工事追加に伴う金額変更及び工期延長である。3回目は、掘削の結果埋設物が見つかったことによる工事追加に伴う金額変更及び工期延長である。 ・工事は無事終わり、国庫へ返納した。
	<p>2. 【森林総合研究所B-1棟高温水ポンプ更新工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
	<p>3. 【多摩森林科学園災害復旧工事（A工区工事）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工区を分けると工期は短縮できるのか。 ・再度公告の期間が短いのはなぜか。何か工夫した点はあるか。 ・等級を広げるよりも東京都のリストを参加資格に加えたのは良いことと考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多摩森林科学園の敷地内にある一つの山にA～Dの4つの工区がある。最初は一つの工事として考えていたが、4つに分けた方が入札者を確保でき、工事が早く終わると見込んだ。 ・年度内に完成させるために工期をできるだけ確保する必要があり、公告期間は最小限とせざるを得なかった。工夫としては東京都「一般土木工事」を参加資格に加えた。
	<p>4. 【森林総合研究所研究本館他空調設備改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等級をAのみとしてBに広げなかったのはなぜか。 ・予定価格に対して入札額と差があったが、なぜ不落随契に応じたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の規模や予定価格からA等級のみとしたが、結果的に応札者が1者となった。今後は同種の工事でも等級を広げることも考えたい。 ・入札価格を積算したのは本社で、入札に来た現場事業所は、どうしてもこの仕事を行いたかったようである。

<p>5. 【森林総合研究所 A-1 棟他防水改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札した業者は調査基準価格を下回っている。予定価格はどのように立てたのか。 ・低入札の場合、予定価格が甘いのではという視点もあるが、本件は見積もりではなく基準に基づく積算ということで理解した。 ・工事で使用した材料が設計と比べて品質が悪かったというようなことはなかったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予定価格は公共建築工事の標準積算基準を基に積算した。 ・改修工事は無事に終わり、施工も問題なく完了した。 ・なかった。監理業務も発注しており、材料等も確認している。
<p>6. 【森林総合研究所 A-24 棟幹線ケーブル更新工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低落札率となった理由は何か。 ・工事の種類やエリアによって入札情報を知る情報源に傾向があるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見積書のケーブルの値段が予定価格より安価であった。 ・工事の種類等による傾向は見られず、入札公告の情報源は、「業界新聞」という業者が圧倒的に多い。
<p>7. 【森林総合研究所研究本館空調設備改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機械の金額で等級が変わるような工事のランクの設定は難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き入札公告の際のランク設定に気を付けていきたい。
<p>8. 【多摩森林科学園災害復旧工事設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理技術者に1級建築士を入れているが、斜面崩壊の復旧工事には対応できないので、今後は、知識のある者がいるところに事前に相談すべき。 ・参加資格について、他の案件は、関東地区に福島県等を追加しているが、今回はなぜ付け加えなかったのか。 ・落札額が驚くほど低い。成果物はきちんとできたのか。 ・本体工事費に対する設計業務 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は八王子なので山梨県を加えることもあり得るが、台風被害で山梨県との交通網が遮断されていたため関東区域内だけとした。 ・できている。 ・低入札の調査で発注者側からできないことを証明するのは難しい面があると感じている。今回のように他の業者も大体同じ金額なのであれば、その結果を積算にフィードバックすることも考えてみたい。 ・プロの目から見た危険箇所の判断や(道)の新ルート開

	<p>の予定価格が高くなっている理由は何か。</p>	<p>拓の相談への対応を依頼しており、これが設計費の積算を上昇させたと考える。危険箇所等の提案は多く出された。</p>
	<p>9. 【森林総合研究所研究本館他空調設備改修工事設計業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	
	<p>10. 【森林総合研究所 A-2 棟他耐震診断業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安すぎるが、しっかりやってくれたのか。 ・予定価格は何に基づいて積算したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の調査も含め耐震診断は完了している。 ・積算基準の耐震診断業務の項目に基づき積算した。 診断結果として3棟とも改修が必要とされ、改修計画及び概算額の提出もあった。 業務内訳書について、他の業者や研究所の予定価格内訳と並べて検討した結果、落札業者の企業努力の結果と判断し落札業者を決定した。
<p>(4)まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の抽出案件については、特に問題はなかったと思われる。 ・参加資格としての等級設定については、ある程度の考え方があった方がよいので、引き続き検討をお願いします。 ・今回は低入札の案件が多かったが、工事中に倒産するような業者と契約しないよう、入札の際の条件、提出される書類など多方面から油断せずチェックするのがよい。 	